



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月23日

上場会社名 パナホーム株式会社 上場取引所 東証一部 大証一部
 コード番号 1924 URL <http://www.panahome.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)上田 勉 TEL (06) 6834 - 5111
 問合せ先責任者 (役職名)取締役専務執行役員 (氏名)池田 孝昭

(百万円未満切捨て)

1. 20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	51,134	5.4	△4,618	—	△4,746	—	△3,148	—
19年3月期第1四半期	48,526	11.8	△4,896	—	△5,281	—	△3,721	—
19年3月期	296,816	—	8,362	—	9,419	—	5,239	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	△18 73	—
19年3月期第1四半期	△22 17	—
19年3月期	31 21	31 18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	213,759	116,217	54.0	686 28
19年3月期第1四半期	209,518	112,709	53.5	667 26
19年3月期	216,770	120,542	55.3	713 07

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	△18,724	△1,020	△781	37,090
19年3月期第1四半期	△19,688	188	△1,063	34,057
19年3月期	△1,114	10,992	△9,044	56,630

2. 20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	142,600	0.5	2,800	0.8	3,200	1.8	1,600	△31.5	9	52
通期	303,000	2.1	9,500	13.6	10,000	6.2	5,500	5.0	32	73

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済の基調判断として、景気は生産の一部に弱さがみられるものの回復しており、先行きについては、企業部門の好調さが持続し、これが家計部門へ波及し国内民需に支えられた景気回復が続くものと見込まれております。

しかしながら、住宅業界におきましては、今年度に入り新設住宅着工戸数が前年を大幅に割り込むという厳しいスタートとなりました。

このような状況の中で当社グループは、人と地球にやさしい暮らしを実現するエコライフ住宅を提唱し、安全・安心、健康・快適、創エネ・省エネをテーマに主力の住宅事業、資産活用事業、リフォーム事業に取り組んでまいりました。このうち住宅事業におきましては、光触媒の優れた防汚効果による白い外観やオール電化仕様により、長寿命でライフサイクルコストを低減しながら、住む人の感性にも応えるきれいな暮らしを提案する『ソラーナ ビアンカ』を発売いたしました。また、資産活用事業におきましては、賃貸住宅としては住宅業界で初めて、オール電化と光触媒のタイル外壁を標準採用した『エルメゾン ネクスト』を発売いたしました。さらに、営業戦略面におきましては、オール電化やエコライフ住宅のメリットが体感できる施設として、昨年7月に東京地区でオープンした『Switch! House世田谷』に引き続き、関西地区で宿泊体験型オール電化モデルハウス『EL・PanaHome夙川』（兵庫県西宮市）を本年7月28日にオープンすることとなりました。

このような状況のもと、当社グループの第1四半期の連結受注高は708億1千万円（前年同期比4.7%減）、連結売上高は511億3千4百万円（前年同期比5.4%増）となりました。また、利益面におきましては、連結営業利益は前年第1四半期から2億7千8百万円改善の△46億1千8百万円、連結経常利益は前年第1四半期から5億3千5百万円改善の△47億4千6百万円、連結純利益は前年第1四半期から5億7千3百万円改善の△31億4千8百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純損失47億6千9百万円となり、たな卸資産の増加143億4千2百万円などにより187億2千4百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出3億7千4百万円などにより10億2千万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払額12億6千万円などにより7億8千1百万円の減少となりました。

これらの結果に新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額9億8千4百万円を加えますと、現金及び現金同等物の期末残高は前連結会計年度末に比べ195億4千万円減の370億9千万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

売上、利益とも概ね当初の予定どおりに推移しており、現時点では平成19年4月25日発表の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準に簡便な方法を採用しています。

(3) 最近会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. （要約）四半期連結財務諸表

(1) （要約）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円、％）

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
資 産 の 部					
流 動 資 産	113,916	127,979	14,063	12.4	129,812
現 金 預 金	34,772	37,110	2,338		56,636
受取手形及び完成工事未収入金等	4,257	3,632	△625		4,002
た な 卸 資 産	61,358	74,229	12,871		59,185
そ の 他	13,527	13,007	△520		9,987
固 定 資 産	95,602	85,779	△9,823	△10.3	86,958
有 形 固 定 資 産	49,701	45,606	△4,095		45,611
無 形 固 定 資 産	2,203	2,723	520		2,631
投 資 有 価 証 券	19,289	16,100	△3,189		18,585
そ の 他	24,407	21,349	△3,058		20,130
資 産 合 計	209,518	213,759	4,241	2.0	216,770
負 債 の 部					
流 動 負 債	79,733	75,799	△3,934	△4.9	74,691
支払手形及び工事未払金等	28,503	28,545	42		35,800
未 成 工 事 受 入 金	24,392	25,346	954		17,359
そ の 他	26,838	21,907	△4,931		21,530
固 定 負 債	17,075	21,743	4,668	27.3	21,536
そ の 他	17,075	21,743	4,668		21,536
負 債 合 計	96,809	97,542	733	0.8	96,228
純 資 産 の 部					
株 主 資 本	118,051	121,478	3,427	2.9	125,891
資 本 金	28,375	28,375	0		28,375
資 本 剰 余 金	31,965	31,971	6		31,970
利 益 剰 余 金	58,046	61,388	3,342		65,797
自 己 株 式	△337	△257	80		△251
評 価 ・ 換 算 差 額 等	△6,052	△6,148	△96	1.6	△6,056
その他有価証券評価差額金	627	644	17		592
土 地 再 評 価 差 額 金	△6,624	△6,673	△49		△6,673
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	0	-	△0		-
為 替 換 算 調 整 勘 定	△55	△119	△64		25
少 数 株 主 持 分	711	887	176	24.7	706
純 資 産 合 計	112,709	116,217	3,508	3.1	120,542
負 債 及 び 純 資 産 合 計	209,518	213,759	4,241	2.0	216,770

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 前 期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	
売 上 高	48,526	51,134	2,608	5.4	296,816
売 上 原 価	37,644	39,665	2,021	5.4	225,398
売 上 総 利 益	10,882	11,469	587	5.4	71,417
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	15,779	16,087	308	2.0	63,055
営 業 利 益 (△ 損 失)	△4,896	△4,618	278	-	8,362
営 業 外 収 益	250	461	211	84.0	1,563
営 業 外 費 用	636	589	△47	△7.3	506
経 常 利 益 (△ 損 失)	△5,281	△4,746	535	-	9,419
特 別 利 益	0	0	0	-	62
特 別 損 失	257	23	△234	△90.9	2,590
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益 (△ 損 失)	△5,539	△4,769	770	-	6,892
法 人 税 等	△1,795	△1,550	245	-	1,600
少 数 株 主 利 益	-	-	-	-	52
少 数 株 主 損 失	23	70	47	203.9	-
四 半 期 (当 期) 純 利 益 (△ 損 失)	△3,721	△3,148	573	-	5,239

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期（当期）純利益（純損失△）	△ 5,539	△ 4,769	6,892
減価償却費	864	803	3,374
売上債権の減少額	2,179	537	2,221
たな卸資産の増加額	△ 16,583	△ 14,342	△ 14,742
仕入債務の増加額（減少額△）	△ 6,208	△ 7,519	1,089
未成工事受入金の増加額	9,322	7,720	2,290
その他	△ 3,723	△ 1,154	△ 2,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,688	△ 18,724	△ 1,114
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 350	△ 374	△ 1,016
有形固定資産の売却による収入	286	5	385
投資有価証券の売却及び償還による収入	679	125	1,144
その他	△ 427	△ 776	10,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	188	△ 1,020	10,992
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	△ 1,259	△ 1,260	△ 2,518
その他	196	478	△ 6,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,063	△ 781	△ 9,044
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4	2	7
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 20,567	△ 20,524	841
VI 現金及び現金同等物の期首残高	54,220	56,630	54,220
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	404	984	1,568
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	34,057	37,090	56,630

(4) 受注の状況

【連結】

受注実績

(単位：百万円、%)

区 分	前第1四半期 (18.4.1~18.6.30)		当第1四半期 (19.4.1~19.6.30)		平成19年3月期 (18.4.1~19.3.31)	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年比
受 注 高	74,276	118.3%	70,810	95.3%	284,798	100.4%
受 注 残 高	177,375	113.7%	162,911	91.8%	141,518	95.6%

(注1) 前第1四半期及び当第1四半期に持分法適用関連会社から子会社へ異動があったため、
前期末受注残高+第1四半期受注高-第1四半期売上高は、第1四半期末受注残高に一致しません。

(注2) 金額は販売価格によっており、消費税等を含んでおりません。

(ご参考)

【個別】

1. 受注状況

(単位：百万円、%)

区 分	前第1四半期 (18.4.1~18.6.30)		当第1四半期 (19.4.1~19.6.30)		前年 同期比	平成19年3月期 (18.4.1~19.3.31)		
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	
受注高	戸建	33,177	47.2%	28,168	41.4%	84.9%	120,237	44.3%
	集合	12,293	17.5%	10,745	15.8%	87.4%	37,069	13.7%
	増改築	6,432	9.1%	6,918	10.2%	107.6%	26,112	9.6%
	建築請負	51,904	73.8%	45,832	67.4%	88.3%	183,419	67.6%
	分譲用土地・建物	8,206	11.7%	9,875	14.5%	120.3%	38,320	14.1%
	住宅システム部材	7,651	10.9%	9,215	13.6%	120.4%	39,054	14.4%
	不動産流通他	2,538	3.6%	3,067	4.5%	120.8%	10,716	3.9%
	計	70,300	100.0%	67,991	100.0%	96.7%	271,509	100.0%

区 分	前第1四半期 (18.4.1~18.6.30)		当第1四半期 (19.4.1~19.6.30)		前年 同期比	平成19年3月期 (18.4.1~19.3.31)		
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	
受注残高	戸建	90,780	53.7%	82,192	53.5%	90.5%	73,397	54.9%
	集合	47,259	27.9%	40,007	26.1%	84.7%	33,696	25.2%
	増改築	2,533	1.5%	3,101	2.0%	122.4%	2,196	1.6%
	建築請負	140,574	83.1%	125,301	81.6%	89.1%	109,290	81.7%
	分譲用土地・建物	5,667	3.3%	7,217	4.7%	127.4%	3,875	2.9%
	住宅システム部材	22,926	13.6%	20,965	13.7%	91.4%	20,543	15.4%
	不動産流通他	2,538	3.6%	3,067	4.5%	120.8%	10,716	3.9%
	計	169,168	100.0%	153,484	100.0%	90.7%	133,709	100.0%

2. 販売状況

(単位：百万円、%)

区 分	前第1四半期 (18.4.1~18.6.30)		当第1四半期 (19.4.1~19.6.30)		前年 同期比	平成19年3月期 (18.4.1~19.3.31)		
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	
売上高	戸建	18,113	38.6%	19,373	40.2%	107.0%	122,556	43.2%
	集合	3,605	7.7%	4,434	9.2%	123.0%	41,943	14.8%
	増改築	5,872	12.5%	6,013	12.5%	102.4%	25,890	9.1%
	建築請負	27,591	58.8%	29,821	61.9%	108.1%	190,390	67.1%
	分譲用土地	5,068	10.8%	4,011	8.3%	79.2%	22,072	7.8%
	分譲用建物	2,805	6.0%	2,521	5.2%	89.9%	17,706	6.2%
	分譲用土地・建物	7,873	16.8%	6,533	13.5%	83.0%	39,779	14.0%
	住宅システム部材	8,896	19.0%	8,793	18.2%	98.8%	42,683	15.1%
	不動産流通他	2,538	5.4%	3,067	6.4%	120.8%	10,716	3.8%
	計	46,900	100.0%	48,216	100.0%	102.8%	283,569	100.0%